

朝日連峰保全協議会 ニュースレター

発行者：朝日連峰保全協議会

■平成 26 年度 合同保全作業の報告について

今年度の合同保全作業は平成 26 年 9 月 6 日（土）～9 月 7 日（日）、朝日連峰オツボ峰周辺にて実施しました。当会設立の平成 21 年度より行っている合同保全作業は 6 回目となりました。

【実施スケジュール】

●9 月 6 日（土）：資材荷上げ、保全作業 25 名

- 7:00 泡滝口駐車場集合、点呼・作業資材配分
- 7:15 登山開始
- 10:00 大鳥小屋着、作業資材配分
昼食休憩
- 11:00 大鳥小屋発
- 13:00 オツボ峰着
現地作業（4 班に分かれ、班別に作業）
- 15:00 下山開始
- 16:30 大鳥小屋着、懇親会【泊】

●9 月 7 日（日）：保全作業 23 名

- 5:20 大鳥小屋発
- 7:45 オツボ峰着
現地作業
- 10:20 作業ふりかえり
昼食休憩
- 12:00 下山開始
- 13:00 大鳥小屋着
- 16:20 泡滝駐車場着、解散



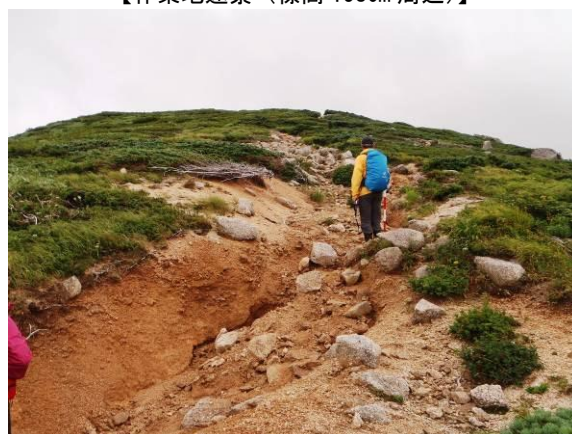
【出発前 渋谷代表の挨拶】



【作業地遠景（標高 1580m 周辺）】

【作業地概況】

作業地はオツボ峰周辺の標高約 1500～1600m、以東岳に至る登山道沿いです。風衝地といわれる、尾根沿いの強風が吹き付ける箇所、表土層がもろくなっています。登山道に流水が集中することにより洗掘が進み、さらに掘れた道の脇を登山者が歩行することなどにより、登山道の侵食や拡幅が進行しています。



【荒廃状況】

【作業内容】

今回の作業では、まず土砂の安定化を図ることを意図しました。侵食・土砂流出の抑制のため、土留工を中心に作業を行いました。加えて、登山道の流水量を減少させるため、適所を選び、土留による排水工を施しました。なお、土留工や排水工の設置箇所等については、班長らが先発して現地確認・検討を行い、各班の作業の指揮にあたりました。

資材は、朝日連峰の同じ風衝地である三方境等で成果をあげている、ヤシ製資材（土のう袋やネット、繊維）を主に用いました。また、事前の資材荷上げにご協力いただいた方々のお陰で、予定資材のほとんどが既に上げられていたため、当日の荷上げが少なく済み、1日目から作業に取りかかることが出来ました。



【オツボ峰の事前荷上げ資材 総量約 120 kg】



【作業の様子】



【ヤシ製ネット・土のうによる土留工】

2日目の作業終了後には、作業のふりかえりを行いました。班長より施工意図や工法の説明を行い、参加者全員で共有を図りました。講評や意見交換の後、適宜手直しも行いました。今後、作業地の検証を続け、土留の追加や緑化ネット敷設等、次の保全作業内容を検討していきたいと思います。



【土留による排水工】



【作業ふりかえり】



【集合写真】

今回の作業には、12団体 25名の参加がありました。2日間共に晴天に恵まれ、予定していた作業を終えることができました。幹事の佐藤義幸氏（自然公園管理員）には統括リーダーとして作業の指揮監督や宿泊等、子細に渡ってご尽力いただきました。また、鶴岡山岳会より飲料、月山朝日公園ボランティア協議会より資材提供をいただきました。作業に関わっていただいた朝日連峰を愛する多くの登山者や山岳関係者、地域関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

【参考ホームページ】

・ 環境省 磐梯朝日国立公園 各種資料

（朝日連峰保全協議会の会則やニュースレター等）

<http://www.env.go.jp/park/bandai/data/index.html>

・ 東北地区アクティブレンジャー日記

<http://tohoku.env.go.jp/blog/>

【発行者】

朝日連峰保全協議会（事務局）羽黒自然保護官事務所（つげ 柘植、しろがね 白銀）

〒997-0141 山形県鶴岡市羽黒町荒川字谷地堰 39-4

TEL : 0235-62-4777・080-2801-0648 FAX : 0235-62-4537 E-mail : RO-HAGURO@env.go.jp